



僕とママの虹色の空

文 natsuko 絵 naoko



sample

僕は ふわふわの まあるい玉になって

ママのおなかに行ったんだ。

まだ、とっても とっても 小さくて

誰にも見つけられないくらいの僕だった。

それでね、ママは小さな僕を見つけたからさ、きっとビックリしちゃったんだ。

ママへ

僕は やりたいことが見つかったから 別の世界へ

旅立つことにするよ。

だから 安心してね。

僕が旅立ってからのママは、泣いてばかり



「おなかの赤ちゃんが 消えちゃった。

昨日まで この私のおなかの中にいたはずなのに。

なんで？ なんでなの？ 私の赤ちゃん、どこへ行っちゃったの？」

ママは わんわん泣いた。

わんわん泣いて 泣いて 泣いて 泣いて 泣いていたんだ。

そして こんなことまで思っていた。

「きつと 私のせいよ。私のせいで赤ちゃんは消えちゃった。

赤ちゃん、ごめんね。あなたには ママしかいなかったのに。

産んであげられなくて ごめん。

この世界を 見せてあげられなくて ごめん。

抱っこしてあげられなくて ごめん。

ひとりぼっちにさせちゃって ごめん。」



sample

ママ 泣かないで。

どうやらママは、笑い方を忘れちゃったみたいなんだ。

僕は悲しいよ。

「ねえ ママ 笑って。前みたいに笑ってよ。」



ためしよみ

は

ここまでです